

平成28年

1月24日(日) 13:00～17:00

参加無料
(申込不要)定員 280名
受付は12:30から

総合司会 小泉恵英(九州国立博物館)

13:00～13:05 開会挨拶 島谷弘幸(九州国立博物館長)

第1部 基調講演

13:05～13:45 **あらためて考える文化財の^{しっかい}悉皆調査と市民**
— 阪神・淡路大震災とボランティア元年 —
三輪嘉六(NPO法人文化財保存支援機構・前九州国立博物館長)

第2部 事例報告(13:45～16:00)

① 地域と共に

13:45～14:10 **防災的観点から見た「大分県記録史料調査事業」**
村上博秋(大分県立歴史博物館)

14:10～14:35 **「島原大変肥後迷惑」**
— 熊本県内に残る津波碑の悉皆調査からみえてきたこと —
坂口圭太郎(熊本県立装飾古墳館) 美濃口雅朗(熊本城調査研究センター)
松本 博幸(天草市文化課)

14:35～14:45 (休憩)

② 市民と共に

14:45～15:10 **阪神・淡路大震災以降の文化財保全活動**
— 一人、まち、時代をつなぐ旧玉置家住宅 —
辻田政顕(三木市豊かなくらし部商工観光課)

15:10～15:35 **新潟県中越大震災と市民参加による資料整理**
— 十日町市古文書整理ボランティア10年のあゆみ —
高橋由美子(十日町市教育委員会)
村山 歩(十日町市博物館・十日町市教育委員会)
山内 景行(十日町市古文書整理ボランティア写真整理チーム)

15:35～16:00 **「ボランティア」から学ぶ歴史資料保全**
— 東日本大震災の取り組みから —
天野 真志(東北大学災害科学国際研究所・NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク)
柴田かよ子(NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークボランティア)
鳥山美智子(NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークボランティア)

16:00～16:10 (休憩)

第3部 パネルディスカッション

16:10～16:55 **地域と共に、市民と共に考える文化財の防災減災**
司会: 本田光子(九州国立博物館)

パネリスト

川内淳史(神戸大学大学院)・伊達仁美(京都造形芸術大学)・
村田眞宏(豊田市美術館)・山口俊浩(文化庁)

16:55～17:00 閉会挨拶 栗原祐司(国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長)

会場 九州国立博物館 ミュージアムホール
(福岡県太宰府市石坂)

主催 九州国立博物館

後援 福岡県・福岡県教育委員会・太宰府市・筑紫野市・大野城市・春日市・那珂川町・
一般社団法人文化財保存修復学会・一般社団法人ミュージアム支援者協会・
NPO法人文化財保存支援機構



[問い合わせ先] 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
TEL: 092-918-2834・2842

(九州国立博物館ホームページ) <http://www.kyuhaku.jp>



「平成27年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」



独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」公開シンポジウム

地域と共に考える 文化財の防災減災Ⅱ



東日本大震災で被災した
歴史資料の保全活動
(写真/NPO法人
宮城歴史資料保全ネットワーク)

公開シンポジウム

地域と共に考える文化財の防災減災Ⅱ

近年相次ぐ大規模災害によって、地域から数多くの文化財が人知れず失われている。一方、地域の文化財が人々の心を強く支え、地域コミュニティに欠くことのできない存在であることも再認識されている。文化財、そして地域を災害から守るために、平時からその地の文化財を余すことなく一点一点調べる「悉皆調査(しっかいちょうさ)」の実施が急がれている。

この悉皆調査は、従来は専門家により行なわれてきたものである。しかし阪神・淡路大震災から20年、特に被災地では、市民ボランティアによる被災資料の調査や整理への支援を契機として、あらたな市民参加型の悉皆調査に取り組み、町おこしや地域活性化への繋がりがみえてきた。すなわち、文化財が市民をつなぐかけ橋となっているのである。

本シンポジウムでは、まず九州の悉皆調査の最新の事例を報告する。そして、阪神・淡路、中越、東日本大震災を受けて実施した、市民との「協働」による文化財の悉皆調査の取り組みを紹介し、地域と共に市民と共にすすめる今後の文化財防災減災のあり方を考える。



1:「寛政四子年肥前国嶋原山々燃崩城下町村々破損ノ圖」
(写真/東京大学地震研究所)



2:中越地震で土蔵が被災し十日町情報館に運び込まれた古文書群
(写真/十日町市教育委員会)



3:パチカン図書館に所蔵される古文書の調査
(写真/大分県立歴史博物館 村上博秋氏)



4:旧玉置家住宅
(写真/三木市観光振興課)



5:東日本大震災で被災した歴史資料の保全活動
(写真/NPO法人 宮城歴史資料保全ネットワーク)

※「島原大変肥後迷惑」寛政4年(1792)肥前国(現長崎県)雲仙岳の火山性地震により山体崩壊を起こした眉山の土砂が島原城下に流入(島原大変)。有明海に流入した土砂によって発生した津波が、対岸の肥後国(現熊本県)を襲った災害(肥後迷惑)。

参加無料

(申込不要) *定員 280名
受付は 12:30 から

平成28年

1月24日(日) 13:00~17:00

【問い合わせ先】九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
TEL:092-918-2834・2842

(九州国立博物館ホームページ)

<http://www.kyuhaku.jp>

■公共交通機関

【西鉄電車】

西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約13分/急行約17分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要

【JR】

JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約5分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

【西鉄バス】

博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分

■車

【九州自動車道】太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分

【福岡都市高速】水城出口から高雄交差点経由で約20分

【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

※駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。

会場までのアクセス

